

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ムロコーポレーション
 コード番号 7264 URL <http://www.muro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 義一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 室 雅文
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL 03-3703-4121 (代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,027	—	228	—	327	—	182	—
20年3月期第1四半期	3,819	5.3	316	46.4	378	102.3	205	63.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	28.13	—
20年3月期第1四半期	32.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
21年3月期第1四半期	16,547	48.7	8,051	48.7	1,246.07	1,246.07		
20年3月期	16,323	50.2	8,200	50.2	1,263.10	1,263.10		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,051百万円 20年3月期 8,200百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	20.00	20.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,078	—	361	—	382	—	230	—	—
通期	16,947	3.7	1,282	△15.5	1,305	5.3	792	△0.8	122.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 6,546,200株 20年3月期 6,546,200株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 84,859株 20年3月期 54,100株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 6,474,371株 20年3月期第1四半期 6,379,153株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成21年3月期の業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2) 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 当社は、平成20年1月24日開催の取締役会及び平成20年6月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、平成20年8月8日までに51,800株を取得いたしました。これにあわせて、平成21年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益の算出には、予想期中平均株式数(第2四半期連結累計期間6,459,463株、通期6,449,579株)を用いております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰による物価上昇やサブプライムローン問題による金融市場の混乱による世界経済の先行き不透明感から、個人消費及び設備投資は鈍化する傾向が見られ始めております。

当社グループの主要得意先であります自動車業界の当第1四半期の販売状況は、前期から引き続き国内販売の落ち込みを輸出でカバーする構図ではありますが、米国の大型車販売の急速な落ち込み等を受け、需要の変化への迅速な対応を余儀なくされるなど、厳しい環境となっています。

このような状況のもと、当社の国内3番目の生産拠点となります菰野工場（三重県）を立上げ、既存顧客への更なる浸透を図るとともに、好調なCVT関連の新規品受注活動を強化してまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、CVT関連部品の売上が好調に推移したことにより4,027百万円（前年同期比5.4%増）となりました。しかしながら損益につきましては、菰野工場の新規立上げに伴う減価償却費の増加、棚卸資産に関する新会計基準の適用や法人税法改正に伴う機械装置の耐用年数変更等により営業利益は228百万円（前年同期比27.6%減）、為替が期初に対し円安に振れたことにより経常利益は327百万円（前年同期比13.4%減）、四半期純利益は182百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

当第1四半期連結会計期間における事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①車輛関連部品

当第1四半期連結会計期間において当社は、既存品の受注に併せて新規受注により順調に売上高を拡大してまいりました。その結果、当部門の売上高は3,801百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

②新規事業品等

当第1四半期連結会計期間におきましては、サブプライムローン問題による北米住宅市場の低迷はあったものの、欧州、韓国での新規販路の開拓により、売上拡大を図ってまいりました。その結果、当部門の売上高は225百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ223百万円増加し16,547百万円となりました。これは主に、菰野工場建設に伴う機械装置の設置による固定資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ372百万円増加し8,496百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べほぼ変わりなく8,051百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第1四半期連結会計期間末には2,579百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は290百万円となりました。これは売上債権の増加55百万円や法人税等の支払額240百万円などの資金の流出があったものの、税金等調整前四半期純利益327百万円や賞与引当金の増加額152百万円などの資金の流入があったこと、減価償却費282百万円によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、流出した資金は523百万円となりました。これは定期預金の払戻による収入42百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出87百万円、有形固定資産の取得による支出468百万円の資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は95百万円となりました。これは短期借入金の純減額200百万円、長期借入金の返済による支出56百万円や配当金の支払による支出113百万円などがあったものの、長期借入れによる収入500百万円の資金の流入があったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間により「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、従来と同一の基準によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ104,832千円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

これによる損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社の機械装置については、従来、耐用年数を12年としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より法人税法の改正を契機とし見直しを行い、9年に変更しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ26,853千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,730,111	2,847,246
受取手形及び売掛金	3,864,378	3,851,082
製品	684,082	718,265
仕掛品	259,897	286,410
原材料及び貯蔵品	431,166	458,598
繰延税金資産	272,133	172,624
その他	219,758	169,360
貸倒引当金	5,378	5,528
流動資産合計	8,456,150	8,498,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,796,044	4,265,203
減価償却累計額	2,801,510	2,789,683
建物及び構築物(純額)	1,994,533	1,475,520
機械装置及び運搬具	8,530,164	8,189,749
減価償却累計額	5,905,057	5,853,507
機械装置及び運搬具(純額)	2,625,106	2,336,241
土地	1,436,667	1,467,551
建設仮勘定	81,274	666,844
その他	3,872,323	3,814,089
減価償却累計額	3,390,168	3,360,093
その他(純額)	482,154	453,996
有形固定資産合計	6,619,735	6,400,155
無形固定資産	232,775	242,914
投資その他の資産		
投資有価証券	546,853	517,711
繰延税金資産	360,706	391,743
その他	360,440	300,378
貸倒引当金	29,222	27,230
投資その他の資産合計	1,238,777	1,182,602
固定資産合計	8,091,289	7,825,672
資産合計	16,547,440	16,323,733

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,632,550	2,641,280
短期借入金	1,332,792	1,502,954
未払金	1,145,356	1,162,125
未払法人税等	243,384	239,294
賞与引当金	418,893	266,500
役員賞与引当金	15,875	43,100
その他	516,712	323,000
流動負債合計	6,305,564	6,178,254
固定負債		
長期借入金	1,275,000	983,362
退職給付引当金	573,581	598,492
役員退職慰労引当金	236,739	231,260
その他	105,250	132,190
固定負債合計	2,190,571	1,945,305
負債合計	8,496,135	8,123,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	6,049,305	5,987,736
自己株式	52,956	30,956
株主資本合計	7,995,735	7,956,166
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,036	93,834
為替換算調整勘定	54,467	150,172
評価・換算差額等合計	55,569	244,007
純資産合計	8,051,304	8,200,173
負債純資産合計	16,547,440	16,323,733

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	4,027,307
売上原価	3,275,205
売上総利益	752,102
販売費及び一般管理費	
運搬費	111,230
役員退職慰労引当金繰入額	5,478
給料及び賞与	112,984
賞与引当金繰入額	35,477
退職給付引当金繰入額	2,437
減価償却費	9,854
貸倒引当金繰入額	61
その他	245,605
販売費及び一般管理費合計	523,129
営業利益	228,972
営業外収益	
為替差益	96,215
その他	13,727
営業外収益合計	109,942
営業外費用	
支払利息	10,596
その他	319
営業外費用合計	10,916
経常利益	327,999
特別利益	
特別利益合計	-
特別損失	
固定資産除却損	83
特別損失合計	83
税金等調整前四半期純利益	327,915
法人税、住民税及び事業税	242,132
法人税等調整額	96,308
法人税等合計	145,823
四半期純利益	182,092

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	327,915
減価償却費	282,707
貸倒引当金の増減額(は減少)	158
賞与引当金の増減額(は減少)	152,393
役員賞与引当金の増減額(は減少)	27,225
退職給付引当金の増減額(は減少)	24,911
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,478
受取利息及び受取配当金	6,592
支払利息	10,596
為替差損益(は益)	89,510
固定資産除却損	83
売上債権の増減額(は増加)	55,690
たな卸資産の増減額(は増加)	16,795
仕入債務の増減額(は減少)	25,373
未払金の増減額(は減少)	59,933
その他	24,121
小計	533,202
利息及び配当金の受取額	8,899
利息の支払額	11,003
法人税等の支払額	240,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	87,664
定期預金の払戻による収入	42,552
有形固定資産の取得による支出	468,131
無形固定資産の取得による支出	9,166
投資有価証券の取得による支出	1,911
投資その他の資産の増減額(は増加)	435
投資活動によるキャッシュ・フロー	523,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	56,074
自己株式の取得による支出	22,000
配当金の支払額	113,438
ファイナンス・リース債務の返済による支出	12,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,178
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	144,348
現金及び現金同等物の期首残高	2,723,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,579,275

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	車輛関連部品 (千円)	新規事業品等 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,801,703	225,603	4,027,307	—	4,027,307
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,801,703	225,603	4,027,307	—	4,027,307
営業利益	361,938	23,984	385,922	△156,950	228,972

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の使用目的、製造方法及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
車輛関連部品	自動車の駆動伝達・操縦装置部品、エンジン部品、コンプレッサー部品等 産業機械部品、農業機械部品、計測器部品、建設機械部品、電気・電子機器部品等
新規事業品等	連続ねじ締め機、ねじ連続体、柑橘類皮むき機等

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.(1)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、営業利益が、「車輛関連部品」で104,832千円減少しております。

4. 追加情報

(当第1四半期連結会計期間)

「追加情報」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数の短縮を行っております。これにより、従来の方によった場合に比べて、「車輛関連部品」の営業利益は26,823千円、「新規事業品等」の営業利益は29千円減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	東南アジア (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,476,064	551,243	—	4,027,307		4,027,307
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	105,372	3,146	25,389	133,908	△133,908	—
計	3,581,436	554,389	25,389	4,161,216	△133,908	4,027,307
営業利益又は営業損失(△)	359,341	33,918	△6,356	386,904	△157,931	228,972

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

北米……米国、カナダ

東南アジア……ベトナム

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.(1)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、「日本」で104,832千円減少しております。

4. 追加情報

(当第1四半期連結会計期間)

「追加情報」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、機械装置の耐用年数の短縮を行っております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業利益は26,853千円減少しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	480,673	100,939	10,359	591,972
II 連結売上高(千円)				4,027,307
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合(%)	11.9	2.5	0.3	14.7

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……米国、カナダ

(2) 欧州……イギリス、ポーランド他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,819,490
II 売上原価	2,984,063
売上総利益	835,427
III 販売費及び一般管理費	519,161
営業利益	316,266
IV 営業外収益	74,855
1 受取利息	4,004
2 受取配当金	4,122
3 為替差益	51,890
4 その他	14,837
V 営業外費用	12,474
1 支払利息	5,225
2 その他	7,249
経常利益	378,647
VI 特別利益	1,056
1 固定資産売却益	1,025
2 その他	31
VII 特別損失	16,028
1 固定資産除却損	682
2 その他	15,346
税金等調整前四半期純利益	363,674
税金費用	158,185
四半期純利益	205,489

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純利益	363,674
減価償却費	203,773
貸倒引当金の減少額	△3,619
賞与引当金の増加額	140,832
退職給付引当金の減少額	△33,197
役員退職慰労引当金の増加額	5,345
受取利息及び受取配当金	△8,127
支払利息	5,225
為替差益	△54,343
固定資産除却損	682
固定資産売却益	△1,025
売上債権の増加額	△68,986
たな卸資産の増加額	△16,005
仕入債務の減少額	△201,604
未払金の増加額	142,606
未払消費税の減少額	△16,945
その他	△131,700
小計	326,583
利息及び配当金の受取額	5,063
利息の支払額	△1,487
法人税等の支払額	△240,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,716

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	2,400
有形固定資産の取得による支出	△316,854
有形固定資産の売却による収入	1,500
無形固定資産の取得による支出	△29,133
投資有価証券の取得による支出	△1,702
貸付金の回収による収入	4,684
その他投資による支出	△20,350
その他投資による収入	72,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,226
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△40,026
株式の発行による収入	396,021
配当金の支払額	△82,833
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,875
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	10,816
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	74,181
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,647,400
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,721,582

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)

(単位：千円)

	車両関連部品	新規事業品等	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,589,114	230,376	3,819,490	—	3,819,490
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,589,114	230,376	3,819,490	—	3,819,490
営業費用	3,184,147	206,689	3,390,837	112,387	3,503,224
営業利益	404,966	23,686	428,653	△112,387	316,266

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)

(単位：千円)

	日本	北米	東南アジア	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,156,008	663,482	—	3,819,490	—	3,819,490
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	153,417	1,728	26,742	181,887	△181,887	—
計	3,309,425	665,210	26,742	4,001,378	△181,887	3,819,490
営業費用	2,925,807	604,687	42,344	3,572,840	△69,615	3,503,224
営業利益又は営業損失(△)	383,617	60,523	△15,602	428,538	△112,272	316,266